

はじめに

令和2年度から全面実施の小学校学習指導要領（平成29年度告示）では、「子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成すること」「知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成すること」「道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること」を指すことが示されています。

特に、体育科では「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」という目標が掲げられています。

この資質・能力については、特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付けること（知識及び技能）、運動や健康についての自己課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うこと（思考力、判断力、表現力等）、運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養うこと（学びに向かう力、人間性等）の3つの育成を目指しています。

本書は、学習指導要領の趣旨を踏まえ、この3つの資質・能力の育成を目指し、体育の指導を適切に行うための指導資料として作成しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、手引作成委員会が開催できないことから、今回は「概要版」として発行し、次年度以降に、より詳細な指導法等の参考資料を発行する予定です。

また、感染防止対策を踏まえた体育授業の進め方についても、児童が安全に安心して臨むことができるような指導法、場づくりの在り方等を掲載しています。

各学校においては、学校及び児童の実態等に応じながら本書を効果的に活用し、学習指導要領の趣旨に沿った児童にとって魅力ある体育の授業が展開されることを期待します。

終わりに、本書の作成に当たり、多大な御協力をいただきました関係者の皆様に対しまして深く感謝申し上げます。

令和2年（2020年）9月

熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課
課長 平江 公一